

現代の社会問題コース（大学コンソーシアム連携講座）

「 2050年の新潟市を展望する一次世代の地域活性化への処方箋 」

1 趣 旨

文献講読や討論、研究発表など受講生の積極的な参加によって、新潟市域の将来についてより多角的に展望します。前半では、一般社団法人地域ルネッサンス創造機構シンクタンク・ザ・リバーバンク編『消滅してたまるか！一品格ある革新的持続へー』を輪読します。後半は、受講生各自の興味・関心のあるテーマについて発表いただき、相互に意見交換と情報共有をおこないます。

2 学習方法 後期 ゼミナール（※前期 講義）

3 曜日・時間

土曜日 午後 4 時 ～ 午後 6 時

4 講座コーディネーター 長岡大学附属図書館長・経済経営学部教授 松本 和明 先生

5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内 容	講 師
1	10/7	ガイダンス	各回の内容、学習方法の説明	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
2	11/11	講読①	『消滅してたまるか！一品格ある革新的持続へー』の松本執筆箇所を読み、意見交換します。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
3	11/18	講読②	『消滅してたまるか！一品格ある革新的持続へー』の受講生が選択した箇所を読み、意見交換します。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
4	11/25	講読③	『消滅してたまるか！一品格ある革新的持続へー』の受講生が選択した箇所を読み、意見交換します。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
5	12/2	講読④	『消滅してたまるか！一品格ある革新的持続へー』の受講生が選択した箇所を読み、意見交換します。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
6	12/9	講読⑤	『消滅してたまるか！一品格ある革新的持続へー』の受講生が選択した箇所を読み、意見交換します。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
7	12/16	受講生による発表・討論①	受講生の興味・関心のあるテーマについて発表いただき、相互で意見交換と情報共有をおこないます。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
8	1/20	受講生による発表・討論②	受講生の興味・関心のあるテーマについて発表いただき、相互で意見交換と情報共有をおこないます。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
9	1/27	受講生による発表・討論③	受講生の興味・関心のあるテーマについて発表いただき、相互で意見交換と情報共有をおこないます。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明
10	2/3	受講生による発表・討論④ 全体のまとめ	受講生の興味・関心のあるテーマについて発表いただき、相互で意見交換と情報共有をおこなうとともに、全体を総括します。	長岡大学経済経営学部 教授 松本和明

※レポートを提出していただきます。詳細については、第1回講義時にご案内いたします。

新潟学コース

「新潟の川・潟とくらし—水との共生のあゆみ—」

1 趣 旨

後期は、前期の座学で学んだことを、フィールドワークを主体に体感してもらうことを主眼とします。明治以降の近代科学技術思想がいかに「水との闘い」に勝利し、多くの人々に経済的利益をもたらすとともに、水循環を遮断し、自然を破壊することで生態系を壊し、自然と共生する人々を苦しめてきたことに思いを馳せ、一歩引きさがることで、新たな自然との共生があり得ることを探索します。

2 学習方法

前期 後期 講義、現地学習

3 曜日・時間

火曜日 午後7時～午後9時（現地学習の場合、時間帯が変更となります。）

4 講座コーディネーター

新潟大学名誉教授 大熊 孝 氏

5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内 容	講師（案）
1	9/26	越後平野の自然堤防と砂丘の地形改変 【講義】	越後平野を特徴づける2つの地形「自然堤防」と「砂丘」について、成り立ちと機能、および改変状況について解説し、そのあり方を考えます。	新潟国際情報大学 国際学部 教授 澤口 晋一
2	10/4 (水)	自然堤防と砂丘を実際に歩いてみる 【現地学習】	自然堤防と砂丘を地形学的視点に基づいて実際に歩くことによって、その地形的特徴や保全上の問題点について考えます。	新潟国際情報大学 国際学部 教授 澤口 晋一
3	10/17	「阿賀に生きるひとたちと新潟水俣病事件」その歴史と背景【現地学習】	新潟水俣病事件のかかわりの深い現地や映画「阿賀に生きる」の撮影現場等に実際立って、当時の様子やその後のいきさつを踏まえ、今後のあり方を考えます。	新潟水俣病安田 患者の会事務局長 旗野 秀人
4	10/24	越後平野の開発とその功罪 【現地学習】	大河津分水から大通川放水路、馬堀用水、樋曾山隧道群、鎧潟干拓地、佐潟、新川・西川の立体交差、明治29年水害痕跡（宝光院）など越後平野の歴史をバスで見学します。	新潟大学名誉教授 大熊 孝
5	10/31	潟の湿地の中で潟を体感する 【現地学習】	「潟遊び」は利水の復活による、潟の魅力の掘り起しと潟とのかかわるスキルや文化、人材育成を目論む。里山、里潟、里川の「里」は人と身近な自然との関わりの総体と考えると、関わりのなくなった湿地が実際どうなっているか。それを鳥屋野潟現地の湿地の中で体感し、保全のあり方を考えます。	NPO 新潟水辺の会 代表世話人 相楽 治
6	調整中	潟を景観の構造で潟を解剖する 【現地学習】	鳥屋野潟八景の絵が清五郎地区、上沼地区に残っています。果たして現在の鳥屋野潟八景はどうか？「景観の構造」理論で、潟辺の眺めの見込み幅、俯瞰景を8.3kmウォークで実感する。鳥屋野潟1周の景観から、水辺の魅力の再発見と改善すべきもの、保全すべきものが見えてきます。	NPO 新潟水辺の会 代表世話人 相楽 治
7	11/14	信濃川中流部見学ツアー 【現地学習】	信濃川中流部の長野・新潟県境付近には西大滝ダム（東京電力）・宮中取水ダム（JR東）が昭和14年に造られ、信濃川の水を完全に収奪し、首都圏に電力を供給して続けてきました。しかし、飯山線は電化されることはありませんでした。近年、ダムからの放流量を増やし、魚道を改善して、鮭・鮎などが長野の千曲川まで遡上できるようになりました。その水力発電形態と魚道を見学します。	新潟大学名誉教授 大熊 孝

※レポートを提出していただきます。詳細については、第1回講義時にご案内いたします。

※見学会バス使用料は公費負担。

生命・自然科学コース

「 ロボットと生きる 」

1 趣 旨

多くの前期講義で示されたように、ロボットに関わる技術は急速に発展し、さまざまなロボットの実現に加えて、誰もがいろいろな形のロボットを自らつくることが可能になってきています。後期ゼミナールでは、ロボットの製作に必要な部品の設計・製作技術の習得、センサやアクチュエータの特性を理解する実験、ロボットプログラミングの実習を通じてロボット製作の基礎技術を体験します。また、ロボットを用いて与えられた課題を解決するスピードや機能の競技会を実施し、前期講義・後期ゼミナールでそれぞれ学んだ知識の集大成とします。

2 学習方法 ゼミナール、実技講習、実機・プログラム製作

3 曜日・時間 土曜日 午前10時 ～ 午前12時

※会場(予定): 新潟大学工学部(A棟314実験室)(1~5回), クロスパルにいがた(6~7回)

4 講座コーディネーター 新潟大学 工学部 准教授 今村 孝 氏

5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内 容	講 師
1	9/30	ロボットのしくみを作る (1)	ロボットの手足となるリンクや歯車などの部品の製作・組立て方法を、実習を通じて学びます。特に立体的な形状をコンピュータで設計する3次元モデリングを学び、製作する機器・工程を体験します。	新潟大学工学部 准教授 今村 孝
2	10/14	ロボットのしくみを作る (2)		新潟大学工学部 准教授 今村 孝
3	10/21	ロボットを動かす/感じる	マイコン制御ロボットを組立て、そのアクチュエータやLEDの制御、センサ情報の処理等のプログラミングを学びます。	新潟大学工学部 准教授 今村 孝
4	11/18	課題を解決するロボットを作る(1)	3週に渡り、これまでの実習内容を応用して「ある課題」をクリアするロボットを製作します。プログラムはもちろん、機構の設計・試作など実習内容を工夫・応用して、本講座の集大成とします。	新潟大学工学部 准教授 今村 孝
5	12/2	課題を解決するロボットを作る(2)		新潟大学工学部 准教授 今村 孝
6	12/9	課題を解決するロボットを作る(3)		新潟大学工学部 准教授 今村 孝
7	12/16	発表・競技会の開催	各自が製作したロボットの動作を披露(プレゼン)する競技会を通じ、それぞれの思い(コンセプト)を学びます。	新潟大学工学部 准教授 今村 孝

※1~5回までは学生アシスタント配置予定。(6~7回は講師の今村先生のみで対応予定)

※ 修了要件は、「7割以上(5回以上)の出席、学習成果の発表、レポートの提出」。

詳細については、第1回(9月30日)の講義にて説明予定。